



つびまる

シジュウカラ 第113号



色素異常のアオジ

通常の色のアオジ



もくじ

- 1 ページ ・ 白いアオジが出現
- 2 ページ ・ 新しい職員からのごあいさつ
・ ネコは室内での飼育をお願いします
- 3 ページ ・ イベント案内（令和8年7月～10月）
・ イベント報告（令和7年12月～令和8年3月）
- 4 ページ ・ 傷病鳥獣の収容状況（令和7年12月～令和8年3月）
・ 愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね



愛鳥センターHP
QRコード



表紙の写真 白いアオジが出現

探鳥路にとっても色の薄いアオジが現れました。アオジの群れの中にいました。かなり白く見えますが、よく見るとアオジらしい色、模様が見えます。白い生き物が現れると、報道などではよく「アルビノ」と紹介されますが、本当にアルビノである事例はほとんどなく、どこかにメラニン由来の色が見られます。アルビノは遺伝的にメラニンが全く作れないため、メラニンに由来する黒や茶、褐色などの色は全く見られません（飼育舎にいる白いハシボソガラスはアルビノです）。それ以外の白くなる色素異常には、色素の配分異常や減少、メラニンの構造の異常などいくつかの種類があり、見た目ではそのどれに当たるのかの判定は困難だそうです。この個体の異常もどれに当たるのかわかりません。よく言われる、「白いと仲間から疎外される」というのはなさそうでしたが、「目立つので捕食されやすい」というのはありそうでした。林の中では白はとても目立ちました。この個体は4月28日から5月2日まで観察され、その後見られなくなったため、渡りの途中に立ち寄った個体と思われます。無事に繁殖地まで渡っていけることを祈ります。



新しい職員からのごあいさつ

4月に愛鳥センターに赴任しました高橋昇^{のりひろ}宏です。

これまでは環境保護行政とは関係のない職場でした。愛鳥センターに赴任して、鳥をはじめ野生の動物のことを一から学んでいます。

愛鳥センターでは野鳥に関する様々なイベントを行っています。つい先日、スタッフとして初心者バードウォッチングに参加しました。バードウォッチングは初めてです。

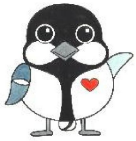
愛鳥センターの探鳥路には色々な鳥がいます。講師の方が鳥の鳴き声を聞きわけて「近くにウグイスがいるよ」などと教えてもらいながらゆっくりゆっくり途中途中で立ち止まりながら鳥を探しました。

私は飛んでいる鳥は見つけれられるのですが、枝にとまったとたん、どこに鳥がいるか分からなくなります。参加された小学生くらいの子供さんが見つけてあそこにいるとうれしそうに声をあげるのですが、私には見つけられませんが、鳥を見つけるのはなかなか難しい。それでもとても楽しいバードウォッチングでした。

愛鳥センターの初心者バードウォッチングでは、身近な鳥の紹介やバードウォッチングのマナーや注意点などのお話しもします。これからは色々なイベントがあります。初心者ですが（スタッフとしてちゃんと仕事をしつつ）参加者のみなさんと楽しく色々学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



初心者バードウォッチングの様子



ネコは室内での飼育をお願いします

愛鳥センターに収容される野鳥の救護原因の中に、ネコに襲われたことが原因のものがあります。今年度に入ってから、ネコに襲われたことが原因で負傷し、短期間で死亡した事例が相次ぎました。これまでも毎年のようにネコに襲われた野鳥が収容されています。

平成20年度から令和6年度までの収容データを集計したところ、他動物に襲われたことが原因のものは659羽、この中でネコによる被害が少なくとも217羽ありました。少なくともというのは、襲った動物が何か不明なものも多いため、不明の中にはネコも含まれていると思われまひます。ネコは捕食をするために襲うだけでなく、捕まえておもちゃにするような場合もあります。そういった場合には鳥が生きているので保護されてきまひます。保護されるまでもなく死亡しているものも多いため、実際の被害数はもっと多いはずでひます。

野鳥にとって、ネコに噛まれたり弄ばれたりすることによって体に受けるダメージはとて大きく、結果として72.4%が死亡してひまひました。創傷や骨折があるものは、保護後数日以内に死亡する事例が多く見られまひました。

近年、ダニが媒介するSFTS（重症熱性血小板減少症候群）ウイルスが放し飼ひのネコに感染する事例や、感染したネコから人間が感染し、死亡する事例も発生してひまひます。ネコを室内で飼育することで、ネコ自身や飼ひ主の生命を守ることもできまひますし、野生生物が襲われて命を落とすことも防げまひます。

ネコもヒトも野生生物も、すべての生き物にとって安全に暮らせる環境になるよう、ネコは室内での飼育をお願いします。



ネコに襲われて翼を骨折したムナグロ



7月～10月イベント案内

探鳥会・観察会

○昆虫観察会

日時：7月19日（日）9：00～11：00

場所：愛鳥センター 定員：20名

講師：胎内昆虫の家 遠藤正浩氏



○シギ・チドリ観察会

日時：9月6日（日）7：00～9：00

場所：網代浜（聖籠町） 定員：20名

集合：海のにぎわい館駐車場（海側）



トウネン

○愛鳥センターバードウォッチング②

日時：9月26日（土）9：00～10：30

場所：愛鳥センター 定員：20名



モズ

○清瀧探鳥会

日時：10月18日（日）9：00～11：00

場所：清瀧公園（新発田市） 定員：20名

申込み方法

住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mailにてお申し込みください。

7/1より申込み受付を開始します。

詳細はイベント情報、ホームページをご覧ください。

講座・教室

○工作教室（消しゴムはんこ）

日時：8月2日（日）13：30～15：00

場所：愛鳥センター 定員：20名

対象：小学校高学年以上

持ち物：道具は用意していますが、デザインカッター、彫刻刀があればお持ちください。



○巣箱作り教室

日時：①8月15日（土）13：30～16：00

②8月16日（日）13：30～16：00

場所：愛鳥センター 定員：8組

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

持ち物：軍手（必要な方）、道具は用意していますが、使い慣れたかなづち、のこぎりなどがある方はお持ちください。



○講座 めざせ調査員！鳥の鳴き声勉強会（秋）

日時：10月25日（土）9：00～11：00

場所：愛鳥センター 定員：10名

対象：小学校高学年以上で、野鳥の野外調査に興味がある方。中級者向け。

持ち物：双眼鏡、筆記用具、バインダー（あれば）

特別展

2階にて開催します。開館時間中自由に見学できます。

★令和8年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会入賞作品展

& 春季特別展（冬季特別展を再展示）「知ってるようで知らない 身近な鳥のこと」

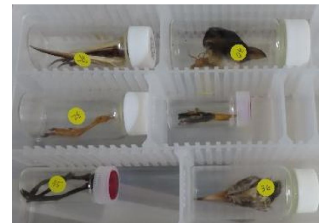
期間：5月16日（土）～7月5日（日）

★令和8年度夏季特別展「新潟の海上を渡る鳥～証拠標本の記録から～」

期間：7月11日（土）～9月13日（日）

★令和9年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会入賞作品展

期間：9月19日（土）～10月25日（日）



鳥の部分標本



令和7年12月～令和8年3月イベント報告

◆弁天瀧探鳥会

日時：令和7年12月7日（日）8：00～10：00

場所：弁天瀧風致公園（聖籠町） 参加者：6名

天気：雨 観察鳥種：26種

順に飛び立って行くハクチョウの飛び立ちを観察しました。雨が降っていましたが、鳥は多く観察できました。

◆足跡ウォッチング

日時：令和8年1月18日（日）9：00～11：00

場所：愛鳥センター周辺 参加者：9名 天気：曇

タヌキ、キツネ、キジの足跡や、動物の糞、鳥の古巣などを観察しました。

◆愛鳥センターバードウォッチング③

日時：令和8年3月8日（日）9：00～10：30

場所：愛鳥センター周辺 参加者：8名

天気：雪 観察種：15種

雪が降り、寒い中での探鳥会でした。サザンカの蜜を食べに来たヒヨドリやカラ類の混群などが見られました。

イベント報告の詳細はホームページに掲載しています。





令和7年12月～令和8年3月の傷病鳥獣收容結果

收容NO.	種類	11月末收容数	收容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	3月末收容数	收容NO.	種類	11月末收容数	收容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	3月末收容数
(鳥類)								13	サシバ	2					2
1	オオヒシクイ		1			1	0	14	ノスリ	2	1			1	2
2	コハクチョウ	2	4	1			5	15	フクロウ	1	1				2
3	カルガモ		1	1			0	16	アカショウビン	1					1
4	コガモ		2	1		1	0	17	アオゲラ		1			1	0
5	スズガモ		1	1			0	18	チョウゲンボウ	5					5
	ヤマドリ	1					1	19	ハヤブサ	1					1
6	キジバト		2			2	0	小計	40	29	12	1	15	41	
7	アオバト	2	1			2	1	(獣類)							
8	カンムリカイツブリ		3	2		1	0	1	アブラコウモリ		1			1	0
9	ヤマシギ		1			1	0	小計	0	1	0	0	1	0	
10	ウミネコ	5	1			1	5	合計	40	30	12	1	16	41	
	ゴイサギ	1					1								
11	コサギ		1			1	0								
	クマタカ	1					1								
12	オオタカ		1			1	0								
	トビ	10					10								

令和7年12月1日～令和8年3月31日までの收容数は、鳥類19種29羽、獣類1種1頭で、昨年度の同時期（鳥類31羽、獣類0頭）と比べ鳥類は減少し、獣類は増加した。

（12/1～12/16の間は、鳥インフルエンザ防疫対策のため收容不可）



利用者数

鳥インフルエンザ対策のため令和7年11月5日～12月16日は臨時休館

月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数	80	98	239	386	803	657,362
相談件数	20	26	35	36	117	—

館内設置のトキ募金箱の報告

令和7年12月～令和8年3月 1,377円 累計 352,837円
皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。



新潟県愛鳥センター紫雲寺さえすりの里

開館時間：午前9時～午後4時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500 Fax：0254-41-4501

HP：<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/>

E-mail：aicho-center@pref.niigata.lg.jp



前号にて、4月よりFaxを廃止すると案内しましたが、今年度は廃止を見送ることとなりました。